

パネル展示を見て

1月15日 これを見て地震のひどさがより  
(金) 分かりました、地震なんて無くなればいい  
と思えました

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

この講演会では地震についても新聞社の  
の仕事についても勉強できたし、命が長くか  
つたのは、総務局にはならないのに、  
それが5000回とすると悲しくなりまし  
た。みんなが、かみしって結いできたものが  
ほんの数日で消えてしまったと思えて  
地震というものは怖いし  
いくつもの命が分かっていなくて、とても  
怖かったです。本当にはかみし  
て思いました。この講演会でたくさん勉強  
ができたので、かみしって思いました。  
みんなが、かみしって思いました。

パネル展示を見て

1月15日 パネルの展示を見て 阪神淡路大震災の被害  
(金) 加害者を知った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて防災に関して自分は今回だけじゃなく、意識  
が高まったと思う。新聞記者の三好さんから話を聞いた。三  
好さんは、新聞記者として、阪神淡路大震災を経験してい  
たのでいろいろなことを教えてもらいました。平成は、いろいろな災  
害があったことわかった。東日本大震災の他にもいろいろな災害  
があった。この講演会を聞いて今まで自分はあまり防災  
に関して意識があまりなかったけど、この講演会で、防災に  
関して、意識が高くなったと思えます。

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見て、自然災害はすごいし、  
(金) また、こわいと思いました。とくに津波が  
すごくこわいと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

神戸新聞の人の話を聞いて、いろいろなことが知れて良かったです。例えば、自然災害やコロナのことが知れて良かったです。

自然災害では昔の災害などが知れて良かったです。私は自分の県でも知らないことがいっぱいあったので、また、調べたいと思います。

コロナは今どんなことをすればいいのかなどを知れて良かったです。

新聞社の人の仕事は大変だと思ったので、すごいと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 地震でくずれたビルや馬車などを見て  
(金) そのグチャグチャなたて物も今はきれいになっていて  
すごいなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災当時の新聞社の仕事のことを聞いて  
とても大変なほうきょうだったのに市民に新聞を届ける  
ために新聞を作るというのがすごいなと思いました。夜おそく  
まで社内にとってなにか事件などがおきたらかけつける、  
というのが大変だなと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見てどれだけ神戸の  
(金) 被害がすごかったのかよくわかりました。  
京都新聞と作った新聞はとても大変だったと思うけど

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて新聞社の人それぞれ取材  
をして学んだことが色々あるということを知り、  
おどろきました。震災によってひさいした人の  
家族の話聞いて胸が痛くなりました。  
次いつどこで地震がおこるか分からない  
ので、荷物を準備しておくことが大切だと  
思いました。写真で見ると色々なものが  
たおれたりくずれたりしていたために、  
今はそれが分からないほどきれいになって  
いるので、神戸はすごいなと感動しました。

パネル展示を見て

1月14日 川などが、氾濫して水害もあったことに驚  
(木) いた また、灰色の景色一面の記事もあった  
ので、その時の人達の「状況」がよく感じれた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

ぼくは、この授業を通して、たくさんの災害を知れ  
また、危険さがとてもよく分かりました。  
一度の震災で5000人もの人の命が奪われる  
ことが恐ろしく感じました。それと、それより  
恐ろしく、怖いと感じたのが「行方不明者とな  
り、勝手に救われたこと」にされた人、まだか  
いの中にもいれている人達のことです。  
いつまた地震が起こるか分からない今から  
らこそ、いつ地震が起きてもしいけうに対  
策をしておく必要があると思いました。

パネル展示を見て

1月14日 様々な災害などの様子がとても  
(木) よく分かりました。また、その人たちのその時の  
状況や心情がとてもよく伝わってきました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

様々な情報をまとめて読者に分かりやすく  
伝えるという点に対して情熱を注いでいる  
新聞社の仕事に興味をもちました。また、新聞を  
見て、いつどこで起きるか分からない災害にしっかり  
対策をしていないといけたりなど思いました。  
そして、この授業を通してたくさんの災害を  
知れ、それぞれの災害の危険性を分かりました。  
ほんの1分間くらいにたくさんの人の  
命がうばわれるという事に恐怖を覚えまし  
たので、家具などが倒れてこないようにしっかり対策をしておきたいなど  
思いました

## パネル展示を見て

1月15日 新聞社の方の「少いでいいから神戸に今の状況を  
(金) 新聞で伝えたい」という気持ちがあるが伝えているものが  
かりで、感動しました。

## 講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私達は震災を(大きな)経験していないので、あまりよくし  
らなからなのですが、中学生になつて、たくさん震災について  
勉強して、自然災害の怖さを改めて感じました。それ  
と同時に人の温かさも感じました。「みんなが協力して生活  
してた」という話を聞いて心が温まりました。

私達が生きている間に万が一大きな地震が起きた時に  
おぼえて、1.17の日には部屋のせいりをしたりすることが  
重要だと改めて感じました。

## パネル展示を見て

1月15日 地震についての写真やどのような様子だった  
(金) のか見てくわしく知ることができた。

また、当時の人々もつらい思いで生きていたんだなと思った。

## 講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

神戸での地震がどれほどすごかったのか話を  
聞いてよくわかりました。地震だけでなく、台  
風などについてもくわしく知ることができたの  
でこれから気をつけていきたいなと思いました。

また、新聞社での仕事内容についても聞い  
て、取材をするなど一人一人の役割があることま  
たくわしく知ることができました。

自分が生きていく中で自然災害はいつどこでおこ  
るかわからないので、気をつけて生活していきま  
いながら今回の講演会で思いました。

パネル展示を見て

1月13日

(水) パネルを見たとき一番印象に残したのは写真でした。特に山津波の写真の神戸がにこた水にあふれているところが強く印象に残っています。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私たちは毎年1月17日が近づくと防災学習をしますが、<sup>年</sup>今ほど深くふれたことはないと思います。

一番は実際に被災した新聞社の方に会えたことです。新聞者の方は、新聞記者の仕事から様々な大雨、地震などの被災地の話をしてくれました。新聞社の方は、災害にあつたたびにそのたび学んでいくことが大切だと言っていました。その言葉は、様々な被災地を見まわられたための説得力がありました。ここで感じたことを、また次の学習や生活に生かしていけるようにしたいと思います。

パネル展示を見て

1月 日

( ) 「Cの前にあるおじいさんの「雨が降ると、今でもこわいんです」がとてもいんしょうしてきた。」

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

話の中で一番いんしょう的だった所は、行く前にはかたむいていたビルがもどってきた時にはたおれてた、という話です。だんだんとあのおっきいビルがたおれたからです。

パネルでは、きゅうじょたいいんがおじいさんをせおつて、きゅう出している写真がよかった!、と思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) パネル展示では、町が悲惨な状況になっていたのに復興について人達の頑張りが分かりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

ぼくは、この講演会を聞いて、多勢の人達が簡単に亡くなっていた震災はどれ程ひどく、残念なものか分かりました。ぼくがや、これから産まれてくる子ども達は、この震災経験ができてないが言葉や写真でしか伝えられてないけどこの震災で亡くなった人々のためにも後の世代に伝えて、この先に来る大地震や津波に対し真険に向かい、対策して減災に取り組むことが必要だと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 写真ではおんたけ悲しいことになっていたのに、

(金) 今の神戸は25年ぶりでまたきれいになっていてみんなすいかんばったんたなおと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

阪神淡路大震災のことだけでなく、大雨災害や噴火のことなども学びました。その中で地震による津波、原発事故、大雨による川の氾濫や冠水など一つ大きな災害が起ると、それにつながって、大きな事故や大規模災害が起ることによく分かりました。

パネル展示を見て

1月15日 写真を一目見ただけで被害の大きさが分  
(金) かる迫力で、間近でこのような写真を撮った  
記者は胸が痛んだろうなと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社の仕事の意味やありがたさがよく分か  
た。日々の出来事を取りあげ、暗い事実を伝える  
一方で明るい言葉をタイトルに入れたり新聞の役  
割は様々あり、すごいなと思った。この新聞で、た  
くさんの人々が助かっていることが分かった。コロ  
ナ禍の中の避難の仕方も学んだのでいつ起きても  
逃げれるように準備しなさいといけなさいと思った。  
自分は阪神淡路大震災を経験してはいないけど、  
今回の防災学習で知ることができたので、自分  
ができることなど考えるいい機会だった。

パネル展示を見て

1月 日

( )

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回の講演会で、防災は難かしいけど、減災  
はやるうと思えば、できるんだなあと思いました。  
正しい地震とかの災害に対する正しい  
みんなの仕方を深く理解して、知っていれ  
ば、減災ならできると分かりました。  
そして、みんなした後の生活も学びまし  
た。みんな用のカバンがさらにこの時期月  
だからこそ、大事な手洗い巾着、ソーシャ  
ルディスタンスに保つことが大事だと思った。



## パネル展示を見て

1月14日 人と未来防災センターのパネルを見て、現在ま  
(木) で当時の様子がしっかり伝えられていて私たち  
も伝えていかなければいけないと思いました。

## 講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回の講演会で、今までのいろいろな災害から  
学ぶことが大切だと分かりました。今回学んだこと  
を、これからに生かしていけるようにしたいと思いまし  
た。また、新聞社の方は、ただ事実を伝えるだけで  
はなく、どんな記事が読者に必要かを考えているの  
だと分かりました。このことを知って、初めて知ったのでお  
どろきました。

今回の話で学んだことがたくさんあり、当時の様子  
も少し分かったので、私も大人になったら、知っていることを伝  
えられるようになりたいと思いました。

## パネル展示を見て

1月15日 地震の被害の写真があって、とっただけ被害があったの  
(金) かが写真でみてビックリしました。

## 講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

阪神淡路大震災のことはよく知らなかったけど、震災が起きて、逃げ  
る時に何を持っていけばいいのかなどを考えられてよかったです。  
話を聞くうちに被災された方たちの苦労なども知れてよかったです。  
阪神淡路大震災で苦労したのは、食料が無かったりしていたからなの  
で、カバンの中に食品を入れたいと思います。  
直前の防災訓練から本当に地震が起きたと思って、できるだけ早  
行動したいと思います。あと寝るところにタスなびの大きいものが  
倒れないところに寝るようにしたいと思います。  
いつ地震が来るか分からないので起きたら、机の下にす  
ぐ入るようにしたいと思います。新聞社の仕事は地震でも揺る、て  
いうのがしんどいかなと思いました。

1月15日

(金) 災害の写真を見て、街がしてもひどいことになっていて、復興の力は大きいと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は新聞社の方の話を聞いて、日本では災害がしても多く起きていると思った。あまり知らなかった地震や大雨なども知って、多くの地域が大きな被害にあったのだと悲しく感じた。また、もし、今、災害が起きて避難所に避難しないと行けなくなった時の持ち物や、気を付けることも学んだ。災害が起きたら、自分や他の命を守ることも大切だが、新型コロナウイルスに感染しないようにすることも大切だということも分かった。災害が起きた時のために今の内から防災リュックを用意したりして備えておこうと思った。そして、今までに起きた震災のことを忘れないように後世に伝えていきたい。

パネル展示を見て

1月15日 映像だけじゃなく、本当に新聞社の方が

(金) と、たのびを改めてみて神戸の町がこんなに燃えていたのに、復興の工事がおこなわれて大変だったと感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

どの県も色々災害があったけれど神戸は震度7を初めて経験しているし、新聞社の方のおかげで神戸がめちゃ大変だったことが今でも忘れられないので神戸新聞の方は大変は中夜おそくまで京都新聞の方にも助けられてきじを書くのはすごいと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 実際の被害の様子を全く伝わてきて、身が震えました。  
(金) 経験していないばかりには分らないけれど、記事を読んで、  
どのくらいのおどろきの数や地震の恐ろしさを知ることが心に残りました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

日本は災害が頻りに多い国です。知らぬ間に、防災の意識を  
強くしなければならぬと痛感しました。何が起きたのか、情報を  
知るためには、新聞が必要。そして、それをするための新聞記者が  
必要。情報を得ている人々に、新聞を届けるという、大切なこと。それ  
それとはうらはらに、取材するということ。カメラマンとして、写真を撮  
るということ。自分にも、相手に対すること。それは、写真、人が  
絶望しているということ。人が希望を求めている、時に生活が壊れて  
復興が進むのを知らず、防災を知り、実際にその状況におそ  
うたときに、最善の行動をし、身近な人を失わないようにしたいです。

パネル展示を見て

1月14日  
(木) 震災当時の新聞をみて、本当にひどい被害  
があったのに、涙に作れず、いいと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

実際に神戸新聞に1月17日にいたみえしこの  
話をきいて、本当にこの神戸がゆれてやめてぐちゃぐ  
ちになって壊れたとあらためて感じました。  
私は、今も生きる人間としてそれを新しい人につ  
ちいでいきたいです。

パネル展示を見て

1月13日

(水) ほととの写真だけでなく、被害の大きさが分かる、建物がほう壊れていて、瓦色しが残っていらなかった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自分が予想していた被害の大きさよりも、はるかに大きな被害を受けているのが写真などを見て分かった。その中でも全員で支え合って、協力して復興していくとあの人達がいてすごく感動した。他にも震災で学んだことと次の災害にも生かしていった。今は、ゴロ禍で災害などが起こるととても大変になると思う。だけれど、自然災害はいつ起こるが分からないから、この状況でも減災できるように、もう一度考えを改めてほしい。あと、次の世代に自分達がつなげてほしい。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 震災後の神戸の町の様子や高速道路などがよく分かりました。また、それを見てはくは、あのボロボロになった神戸を元にもどした人はすごく人を思える人だなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えてはくは、震災のこわさについてよく分かりました。震度7がきたとしても人々は、どのように防いだのかも教えてもらいました。そしてたくさん自然災害についても台風、地震、津波などの災害について教えてもらうことができたのでよかったです。この学習を生かして地震がきても街で協力しあえるような人になりたいと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 震災のことを学べる場所があり地震がどれほど  
(金) こわいものか! 人がどれほど悲しい思いをしたか!  
そういうことを知って学べる場所がうくられてよかったと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて、あらためて、ほくほ、地震は、もろく  
こわく、おそろしいことだと理解しました。数秒で、神戸は、Xチャ  
Xチャになり、人が何人も死んで、とても、人が住めるかんきょう  
では、たよくありません。家族や、友人を、たよくし、  
悲しく、苦しい思いをした人たちが、いらして、  
いばんだということがよく分かりました。  
もろく、こわがたです。この学習を、ふまえて、  
今後、かんばります。

パネル展示を見て

1月15日 パネルを見て、神戸の大洪水について  
(金) よりよく知る事ができました。昔のことだ  
からといって忘れるのではなく、次の世代まで伝えること  
と思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

実際に震災を経験された三好さんの話を  
聞いて、当時の大変な状況を写真と  
一緒にリアルに感じることができました。  
当時の状況を仕事だからといって写真を撮  
撮ることは辛かったと思うし、自分の会社  
が地震でくずれてしまっても仕事をする  
新聞社の人たちの新聞を作りたいたいという  
気持ちかすかすかと思いました。私たちも含めて  
震災を経験していつか人は弱くなっているの  
聞かせていた方がいい話を忘れないうちにしたいです。

パネル展示を見る

1月15日 パネルを見て家から火が燃えているのを表現  
( ) しているのを展示しているのを知って本当に火燃えてい  
たらでかくていなくていい気がしないと思えました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会では過去の震災を考えてもらってこんなにたくさん  
被害あっても何ヵ月後には新しくなっているのは少しは新聞士の業新聞が  
なつたと思えました。三好さんがいらして色々して伝えること  
ができたから震災のこわさが思はんなどが理解  
できて一人ですべてうしろまらうのが分かりました。  
そして大事な事は震災が起ると分散でいなくて必要  
でマスクが体温計も心電で座り方にもきをつけなくて  
いけないと思えました。そしてスマホの除菌が大ごと  
て知りませんでした。今回またし知らないことを教えて  
もらっていい経験でした。

パネル展示を見て

1月15日 私はパネル展示を通じて、あらためて地震の強さ、  
(金) こわさを感じました。そして、みんなひとりで神戸  
がみんなキレイにビル興できたのは一人一人が支え合って前向きな  
気持ちでいたからかなと思います。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回の講演会を通して、たくさん知識を得られたし、  
実際に被災者の方のお話を聞いて、今まで知らなかった事  
思いや気持ちを知れたと思います。自分は生まれてないため、実  
際に体験ということはないし、そのとうじの人々の気持ちや  
雰囲気も分かりません。ただ、"もしも"も分かってほしい、  
感じてほしい、という被災者の思いや過去にあった災害の  
ことたくさん分かりました。これからは、地震でたくさんの方が命  
をうばわれてしまったことを忘れず、自分の命、他人の命を大  
切にしていきたいです。

パネル展示を見て

1月14日

(金) して子災害をいもあつたけいしうなりのもあつていひみち大  
なひひいけうけてのりのもあつたので もりほいまは

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会も終えて思った事はとて大変な事をやれた事(り)のてす  
死者が多いと悲しいです。かいてははていれい  
なことを(り)ても(り)かた(り)と(り)分かん  
まがまた「知ることか(り)のて(り)し(り)を  
(り)た(り)の(り)持ちを(り)か(り)して(り)は(り)は(り)思(り)ほ  
(り)の

パネル展示を見て

1月15日

神戸の震災後の様子がとても伝わってきました。

(金) あたり一面の建物が倒壊していたり燃えたり

しているのが特に印象的だが大雪などの所も見えてこれから気を付けようと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

実際に地震が発生した時の様子やその後の様子などを  
たくさん聞くことができました。やはり自然災害はとて

こわいものだ"と思った。人間が未然に防ぐことが  
できないので起きた後の対応がとて重要だ"と思った。

今回学んだ阪神・淡路大震災も大地震が起きた後の  
対応がはげしかったからものすごいスピードで復興できたと

思った。それと、被災した神戸を周辺の県が救援物資  
などを送ったりしたのもみんなが協力して復興するとい

う点でとても良かったと思います。今回の学習をえて

これからもし災害があった時の対応をどうしようか考える

ことができました。

パネル展示を見て

1月15日 パネルを見るだけでどれぐらいの被害があ  
(金) たか分かったとしても大変だ。たことが伝わり  
ました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は地震を体験したことがないけど、いろんな話を聞いて改めて地震は怖いものだと思います。例えば地震が起こると火災や津波が起こってしま  
いそれでまた被害大きくなってしまふから怖いなと思  
いました。

また、地震だけでなく大雪なども大きな被害に  
なるから自然災害はとても怖いと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 パネル展示を見て震災当時の写真から火災や  
(金) 地盤が壊れているのかがわかりました。経験した人の  
苦しさもとても伝わってきました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回の講演会を聞いて、震災のすぐ後に仕事をしている人が  
いると知ってびっくりしました。身内の人を亡くしてしまった人  
もいるかも知れないのにも関わらず、自分のことより地域  
の人の為に働いている心を本当に尊敬しました。阪神淡  
路大震災を僕達は経験していないから自分発信で話は  
出来ないけど、今回の講演会のおかげで経験した人から話を  
聞いて後世に伝えていくことが大事だと思  
いました。阪神淡路大震災めより地震だけでなく台風の被害や  
土砂災害など自然災害への対策も考えなければと思  
った。今日は本当に有難うございました。



パネル展示を見て

1月15日 色々な写真を見て、助け合っている写真や震災と今と  
(金) 比べている写真を見て、たくさんの方が一丸となって、神戸の  
町を復興させたのになと感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

パネル展示や新聞社の話を聞いて、地震は、私が  
想像していた以上に恐怖と悲しみがたくさんあったこと  
が分かりました。新聞社も、このような記事は書きたく  
なかつたろうし、でも被災者のために情報を早く届け  
なければならなかつたから、その分どうはにかいたと思います。  
暗いことばかり書かず、少しづつ未来を明るくするために、見出しも  
明るい言葉を使い、被災者の人たちにも元気をあたえて  
いたことが今につながっているのかなと思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(金) ロだけでは伝わりにくい内容とかがカラー  
写真になっていて地震の怖さを改めて知りました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

大地震が起きて、まわりの被災地の方々と  
協力し、信頼関係をもち、あきらめずに前に進むこ  
とが大切だと改めて思いました。自分が少しでもがんばる  
ことで、まわりの人が笑顔になるということが分かったので  
少しでもがんばろうと思いました。